



Sasayama Elementary School

学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成29年 5月31日発行

平成29年度 第3号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

みんなで創り上げる楽しさや喜びを

副校長 桐畑 美登利

梅雨入りを前にして、夏の訪れを思わせるような日もありますが、ここ笹山の丘はいつも心地よい爽やかな風が流れています。

さて、過日、第44回ササリンピックが快晴のもと開催されました。地域や保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの演技・競技をご覧いただきました。大きなご声援を賜わることができましたことに、心より感謝申し上げます。

前日までの練習風景にも増して、当日の競技や応援合戦では子どもたちがひた向きに頑張る姿、演技では仲間と共に一つの動きを創り上げる姿が見られました。まさにササリンピックの児童スローガン「自分元気 友達大好き いざゆけ はばたけ ササリンピック」として目指してきた姿だと思いました。

さて、本校では「なかよし活動（縦割りグループによる異学年交流）」を、年間を通して教育課程に位置付けています。ササリンピックにおいても、「大縄」「大玉送り」「綱引き」を「なかよし活動」の競技として実施しました。本校は単級ですので、どうしても同学年の子どもたち同士の交友関係の広がりには、限界があります。同学年内のかかわりに留まらず、なかよし活動での異学年交流のよさを学校運営の大きな柱として掲げ、笹山小学校の合い言葉「自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子」の実現を目指しています。

本校ではなかよし活動を含む活動等において、卒業までに必ずリーダーとしての立場や役割を経験することになります。4月からのなかよしグループの仲間作りが始まり、6年生のリーダーシップのもと、自己紹介をしたりササリンピックの競技の練習をしたりしてきました。そんな中、ササリンピックでのなかよし活動競技「大縄」では、6年生がリーダーシップをとりながら力を合わせる姿がたくさん見られました。

大縄をみんなで一斉に跳ぶためにかけ声を合わせたり、跳ぶのが難しい場所に高学年が自主的に入ったり競技の途中でも下学年児童と場所を入れ替わってあげたり、低学年と一緒に跳んであげたりする6年生の姿が見られました。跳ぶ回数の記録を伸ばしたいという目標や思いに向かって力を合わせて純粋に頑張る子どもたちの姿は、応援する周りの方々に感動を与えてくれました。練習の時には上手に跳べないこともありましたが、仲間を攻めず前向きに頑張ってきた取組の成果です。

また、低学年の「ささっこカラフル行進曲」ではキラキラと輝いたリズムカルな演技、中学年の「Sasayama Soul Run2017」ではきびきびとした力強い息の合った演技、高学年の「Dance with YOKOHAMA 笹山バージョン2017」では一つ一つの動きに魂がこもった気迫ある演技をご披露することができました。これも子どもたちが前日までみんなで創り上げる楽しさを味わいながら練習を積み重ねてきた成果と言えます。

さて6月は水泳学習が始まります。6月19日（月）にプール開きが行われます。今年度の水泳学習に臨むにあたり、事故や怪我がなく、安全で楽しい水泳学習ができることを願っています。昨年度までの自分の能力や実態、意欲などを踏まえながら、子ども一人ひとりが自分のめあてに向かって努力できるよう指導・支援して参ります。

目標達成を目指して取り組む「自分」もまた仲間である「友だち」も互いに認め合い高め合いながら、学校教育目標に向けて歩みを進め、輝ける笹山小学校をみんなで創り上げていきます。

地域・保護者の皆様、引き続きご指導ご鞭撻をどうぞ宜しくお願いいたします。